

請願第 2 号



2025 年 3 月 7 日

盛岡市議会議長 様

紹介議員

豊村 徹也

住所 盛岡市

氏名 東北有志医師の会 駒野宏人

電話

住所 仙台市

氏名 東北有志医師の会代表 後藤均

電話

住所 岩手県北上市

氏名 医療法人社団まちのあかり

しゅういちろう内科クリニック

理事長 高橋秀一郎

事務長 高橋恵理花

電話

住所 岩手県盛岡市

氏名 政策立案有志市民会

安部茂樹

電話

「mRNA型コロナワクチンの残留DNA量の安全限度値超過が判明したため
残留DNA量の開示とmRNA型コロナワクチンの販売停止を国に求める意見書」の
提出を求める請願

【請願趣旨】

令和3年2月から新型コロナワクチンの接種が始まって以来、従来のワクチンの比ではない健康被害が発生しています。厚生労働省の発表によると新型コロナワクチン副反応疑い報告37,555件、ワクチン接種後死亡者2,262人にものぼります。(2024年10月25日厚生労働省発表)¹⁾

また、新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害のこれまでの進達受理件数は12,733件、そのうち認定数は8,755件、死亡認定数は947件となっています。(2025年1月20日厚生労働省発表)²⁾

インフルエンザワクチンとほぼ同条件で比較すると、死亡認定数は、インフルエンザワクチンでは4人（接種回数：1億7922万1430回、接種期間：2012～2021年度）。

コロナワクチンでは694人と（接種回数：1億9336万2873回、接種期間：2021年4月～2024年3月19日）と173倍にもなりその違いは歴然であるにもかかわらずそれでも中止されない異常な事態が続いています。

本健康被害申請は心痛の遺族や症状に苦しむ被害者が困難を極める申請手続きを乗り越えて申請に至ることができた氷山のごく一角であり、申請までに至らない被害者も数多くいます。片やワクチン接種開始の2021年（令和3年）から日本の超過死亡者数は、コロナ死や高齢化では説明がつかないほど増加の一途をたどっています。³⁾

そのような中、当初から使用されてきたmRNA型コロナワクチンに安全基準値を超えるDNAが残留していることが最近の調査で明らかになりました。

世界保健機関（WHO）⁴⁾や、米国食品医薬品局（FDA）⁵⁾などの規制当局では、残留DNA量を10 ng/dose未満とする指針が示されています。しかしFDAの監督下で実施された研究によると、mRNA型コロナワクチン内に基準値の6～470倍のDNA残留が確認されたとの調査結果が査読付き学術誌に掲載されました。（2024年12月29日付）⁶⁾ その中で残留DNAが接種者の遺伝子に挿入される可能性や、それががんのリスクを高める可能性について言及しています。また、海外複数の科学者が同様の実験を実施し、ファイザー製、モデルナ製、第一三共製のmRNA型コロナワクチンの中に基準値を超える残留DNAを確認し深刻な危険性を指摘しています。⁷⁾

残留DNAは汚染DNAとも呼ばれ、これがゲノムに挿入されると遺伝子を変異させることがあり、そうした変異ががんの原因となったり、子孫へと遺伝したりする可能性があります。また、ワクチン汚染DNAの中にはがんウイルスの遺伝子配列である『SV40プロモーター・エンハンサー』も含まれており、これはゲノムに取り込まれると細胞のがん化の原因にもなる配列で、そもそも必要の無い配列です。

このように、次世代に影響を及ぼし、不可逆な被害が出るおそれのある長期安全性が不明のものを、健康な人に広く打つワクチンに適用することに疑問を持ちます。安全基準に満たないものは、どの業界であっても安全上の問題が生じる可能性があるとして責任を問われることとなります。安全基準に満たないmRNA型コロナワクチンが製品として欠陥があるのは明確であり、即回収調査し、安全性が確認されるまでは国民に接種されるべきではありません。

以上のことから下記の事項をお願いいたします。

【請願項目】

- ① PL法に基づく国内流通mRNA型コロナワクチンの残留DNA量の開示を国に求める意見書の提出を求めます。
- ② また、甚大な健康被害を発生させており、基準値を超える残留DNAを含んでいること

が判明した mRNA 型コロナワクチンの安全性が確認されるまで販売停止を国に求める意見書の提出を求めます。

(引用)

- 1) https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html
- 2) https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-shippe_127696_00006.html
- 3) https://medicalfacts.info/mort.rb?l=ja&cmpys=5&cmpto=reg2020&types=death_amr~death_amr_excess~death_amr_cumuldiff&ages=age_all&sexes=both&death_codes=00000&c=JPN
- 4) Knezevic et al., WHO study group on cell substrates for production of biologicals. (2008) Biologicals 36:203-211
- 5) U.S. Food and Drug Administration Center for Biologics Evaluation and Research. : J. Immunother ., 20 (3) , 214 (1997)
- 6) <https://jhss.scholasticahq.com/article/127890-a-rapid-detection-method-of-replication-competent-plasmid-dna-from-covid-19-mrna-vaccines-for-quality-control>
- 7)
 - ・ Kevin McKernan 博士の報告 <https://osf.io/preprints/osf/b9t7m>
 - ・ Phillip J. Buckhaults 博士 サウスカロライナ州議会公聴会で発表
<https://www.scstatehouse.gov/CommitteeInfo/SenateMedicalAffairsCommittee/PandemicPreparedness/Phillip-Buckhaults-SC-Senate-09122023-final.pdf>
 - ・ König B, Kirchner 博士の査読済論文 <https://www.mdpi.com/2409-9279/7/3/41>
 - ・ David J Speicher 博士の報告 <https://osf.io/xv3nz/>
 - ・ Didier Raoult 博士の査読済論文 <https://hal.science/hal-04778576v1>
 - ・ Ulrike Kämmerer 博士の査読済論文
<https://publichealthpolicyjournal.com/biontech-rna-based-covid-19-injections-contain-large-amounts-of-residual-dna-including-an-sv40-promoter-enhancer-sequence/>